

一般財団法人神戸すまいまちづくり公社
平成 28 年度第 3 回評議員会会議録

1. 開催日時

平成 29 年 3 月 27 日（月）午後 4 時から午後 4 時 50 分まで

2. 会 場

サンパル 5 階 セミナールーム

3. 評議員現在数及び定足数並びに出席評議員数及びその氏名

評議員現在数 5 名 定足数 3 名 出席評議員数 4 名

出席した評議員の氏名 加登 豊、石丸 鐵太郎、梶木 典子、岩橋 哲哉

4. 監事現在数並びに出席監事数及びその氏名

監事現在数 2 名 出席監事数 1 名

出席した監事の氏名 梁 英子

5. 出席理事の役職及び氏名

理事長 石井 陽一、専務理事 中塚 弘明、常務理事 松永 裕行

理事 井澤 元博、理事 安田 丑作

6. 議長兼議事録作成者の氏名

加登 豊

7. 評議員会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認

(2) 議長の選出

(3) 報告事項

① 「平成 28 年度補正予算について」

② 「平成 29 年度事業計画及び予算について」

③ 「組織の改正について」

意見は別紙 1 の通りである。

(4) その他

その他の意見については、別紙 2 の通りである。

(5) 閉会

以上をもって報告を終了したため、午後4時50分に議長は閉会を宣し、解散した。

報告事項②に対する意見

<ロープウェー・ケーブル事業について>

評議員：

- ・インバウンドの観光客対応のためのペッパーとは具体的に何か。

常務理事：

- ・近年急増している海外からの観光客への外国語案内をするロボット「ペッパー」を、早々に摩耶ケーブルに1体設置する予定である。また、六甲有馬ロープウェーにも近い将来設置する予定である。

評議員：

- ・各ロープウェーの Wi-Fi 環境は整っているのか。情報発信をするうえで Wi-Fi 環境の整備は必須であり、無料 Wi-Fi 以外に、例えば 400 円から 1500 円程度の安価なルーターをレンタルするのも 1 つの方法である。また、QR コードのトランスレーターを用いて、デジタルサイネージの看板等を写すと母国語に翻訳されるといった仕組みもある。このサービスは、多言語対応にするのにとりわけ難しいというわけでもなく、無料でも十分活用でき、購入するとさらに質のいい翻訳が期待できる。観光客の多い国の言語だけを取り扱うのではなく、「神戸はマイノリティーへのサポートも行っている」ということが国際都市として重要になるのではないか。
- ・このような取り組みを神戸市に先駆けて行うことで、市が採用し、一般企業や一般市民に浸透していくことにつながると考える。

報告事項③に対する意見

<平成 29 年度組織改正の概要について>

評議員：

- ・組織図を見ただけの感想だが、新しい部署が増えるたびに担当部署が増えるのでは、いかにも官僚組織である。「1 つ買ったなら 2 つ捨てる」といった断捨離の発想で考えると、組織が肥大化しているのか、業務の多様化に応じた組織編制なのかを見極められる。組織改正は非常に重要であるので、次年度以降は慎重に検討していただきたい。

その他の意見

評議員：

・私が主宰する経営塾という異業種の勉強会があり、3月6日から11日の期間、ラスベガス、ロサンゼルス、サンディエゴを回ってきた。ロスの南側にロングビーチという輸入国を象徴するような大きなコンテナが入ってくる港町があるが、街の魅力の面からは成功している街には思えない。一方、サンディエゴの北側にブラスバッドという高級住宅街があり、住みたい街ベストスリーに毎年入るような街がある。

・神戸は国際都市であるため、世界にも目を向け、海外の情報も知っておく必要がある。来年3月にまた渡航する予定であるので、公社のために役立つ情報を持って帰る条件で、何人かの職員を連れていくことができる。成功した街とそうでない街を視察する価値は十分にある。

・以前にも述べたとおり、神戸市からの出向職員にとって、公社が優れた出向先だという価値を獲得するとともに、市に貢献するのはもちろんのこと、神戸全体、さらに日本全体にとって意味のある情報を発信していく団体になってほしい。